

## 令和元年度第1回鏡ヶ池会役員会議事録（案）

日 時：平成31年04月12日（金） 17:30～19:00

場 所：名古屋大学東山キャンパス 工学研究科8号館北棟210号室（土木工学専攻大会議室）

出席者：伊藤（11期・会長）、高辻（東京支部長・代理桑田）、仙田（関西支部長・代理吉野）、酒井（名簿，web）、椿（しゃち）、趙（留学生担当）、井料（女子の会担当）、池田（1期）、高瀬（2期）、南川（3期）、大澤（4期・代理白木）、遠山（5期）、渡辺（6期）、加藤（7期）、寺島（8期）、吉田（10期）、田中（13期・会計監事）、向井（15期）、大東（16期）、織田（17期）、岩田（18期）、片山（20期）、後藤（21期）、加藤（22期）、中村（23期・代理富田）、中野（24期）、野田（25期）、鈴木（26期）、石川（27期）、加藤（28期）、川崎（29期）、萩野（30期）、石川（31期）、水野（32期）、三輪（34期）、田代（35期・幹事長）、中井（36期・副幹事長）、判治（37期・名簿）、中村（39期・会計）、渡邊（40期）、宇佐美（42期）、赤根（43期）、奥岡（44期・名簿）、吉川（46期・会計）、柿元（47期・しゃち）、根橋（53期）、朝隈（54期・学生会会長）、大橋（54期）、加古（55期）、菱川（55期） 出席者数50名

### 報 告

#### 1. 平成30年度会計報告（資料31-1-2，別紙） （中村友）

- ・ 名簿・しゃちの印刷代，総会・講演会補助費など支出の内訳とともに，1年間分の会計報告がなされた．なお，収入に関して，口座引落を行っている会員のうち，54名（7.3%）について引落しエラーが生じた．
- ・ 会費請求について，近年の実施時期が紹介された．平成30年度は1月中旬以降（3月頃）に振込書を送付し，1月下旬に口座引落を実施したが，本年度については時期を早めて行う方針について提案があり，これを承認した．
- ・ 三井住友2件，三菱UFJ，ゆうちょ銀行などの入金状況から，平成30年度末時点の残高（本年度への繰越金）を確認した．
- ・ 会費納入率の高い「期」が順次プレミアム会員に移行していく中で（本年度は6期生の完納者がプレミアム会員），若手会員の会費納入率が低いため，近年は年間50万円強の赤字が計上されている．今後，会員数の増加に伴って名簿・しゃちの作成・郵送費の増加が見込まれるため，現在，1100万円程度ある繰越金について20年弱で消化する可能性が指摘された．これに対し，伊藤会長より「会費納入に関しては，若年期を対象とした現在の対策効果により解決する可能性があるのではないか」との見解が呈された．この問題については，引き続き，経過を観察していくこととなった．

#### 2. 後援基金報告（資料31-1-3） （三輪）

- ・ 平成30年度の会計報告がなされた．
- ・ 近年の留学生増加に伴って終身会員数が増加している状況について紹介があった．

### 3. 支部活動報告 (資料 31-1-4~5)

#### 1) 東京支部 (資料 31-1-4)

(高辻 代理：桑田)

- ・平成30年度支部総会について、11月16日(金)@四ッ谷主婦会館にて、93名の参加者を得て盛大に開催された旨、紹介があった(本部および教室から、伊藤名誉教授・会長(11期)、田代特任教授・幹事長(35期)、吉川助教・会計(46期)が出席)。
- ・例年、参加者があまり丁寧に講演を聞いてない状況を踏まえ、歓談中に「ジャンケン勝ち抜きゲーム」(豪華賞品付)を実施したところ好評であった。
- ・若手の参加が少ないことが依然として課題であることが紹介された。今後も大手ゼネコンが輪番制で幹事を担当する体制を続けていくことにより、若年期の同窓生の巻き込みを期待している。
- ・本年度は、清水建設(25期生高辻氏が支部長)が担当会社であるが、諸般の事情により例年に比べて引継ぎ(大成建設→清水建設)が遅れている。
- ・本年度支部総会は、11月15日(金)@四ッ谷主婦会館にて開催される予定である旨、紹介があった。
- ・平成30年度の会計報告があり、これを踏まえて本年度も本部から40万円の支援費支給に関する要望があり承認された。ただし、次年度以降は減額も検討する。

#### 2) 関西支部 (資料 31-1-5)

(仙田 代理：吉野)

- ・平成30年度後期以降の活動状況について、11月16日(金)@がんこ阪急通り店にて関西銀シャチ会(参加者：13名)や幹事会などを実施した旨、同年度の会計報告とともに紹介があった。なお、全学同窓会関西支部幹事会にも参加している。
- ・前年度に引き続き、仙田支部長(23期)、吉野幹事長(22期)ほか7名の体制で運営していく旨、説明された。
- ・本年度の活動計画として、例年通り、「関西バリバリ会」、「支部大会」、「関西銀シャチ会」を実施するほか、若手会員の参加を促していく方策などが紹介された。

### 4. 教室近況報告 (資料 31-1-6)

(加藤準 代理：中井)

- ・4月1日付で、構造・材料工学講座(構造解析学、鋼構造学)から北根准教授が京都大学に、地盤工学講座(地盤力学、土質基礎工学)から山田准教授が東北大学に転出された一方、構造材料工学講座(構造解析学、鋼構造学)に干場大也助教が東北大から着任された。
- ・同日付にて、大学院環境学研究科都市環境学専攻では、土木系教員が所属する空間環境学コースが物質環境学コースと統合され、持続発展学コースに変更となった。これに伴い、従来の前・物質環境学コース所属の日比野高士教授、ジンチェンコ・アナトーリ准教授(いずれも環境機能物質学講座)、岩松将一准教授(都市持続発展論講座)も土木系教室の研究教育を担当することとなった。

### 5. 女子の会活動報告 (資料 31-1-7)

(井料)

- 平成 30 年度の活動として、12 月 13 日（木）16:30~17:45、初の試みである、「ワークライフバランスについて考える」セミナーが開催された旨、報告された（参加者 24 名）。話題提供者は、ご主人・4 人のお子さんと生活しながら研究を行っている Gongor Munguntsooj さん（谷川研 M2、モンゴル出身、JICA 奨学生）で、モンゴルや日本での生活について紹介があった。議論では、家事・育児のシェアや家庭内協働、限られた時間の効率的利用などについて情報・意見交換がなされた。
- 上記セミナーに引き続いて行われた懇親会では、授業等でセミナーに出席できなかった学生も合流し、大盛況となった。大学院からの入学者にとっては、履修科目が異なる学生との交流はほとんど機会が無いこともあり、貴重な交流の機会となった。懇親会の費用の一部を鏡ヶ池会からの補助費で賄った旨、報告があった。
- 上記のほか、恒例となった卒業記念パーティーでの集合写真の撮影についての報告のほか、本年 8 月には県主催の理系女子学生応援事業に参加し、環境土木工学プログラムやその周辺分野について紹介していく予定などについて、紹介された。今後に向けては、会の活動を支援する女性教員が子育て世代ということもあり昼食会での交流を模索するほか、日本人学生向けの交流会も含めて検討中である旨、報告があった。

#### 6. 学生会活動報告（資料 31-1-8） （朝隈）

- 平成 30 年度後期の活動として名大祭土木展、土木懇親会、卒業記念パーティー、卒業アルバム制作についての報告があった。なお、台風襲来により研究室対抗ソフトボール大会、参加希望少数により土木系運動会は中止とした旨、補足された。
- 土木系運動会については例年参加少数のため、本年度は開催を見合わせる方針が示され、協議の結果、学生会の判断に委ねることとなった。
- 平成 30 年度卒業記念パーティーと同年度その他の事業に関する会計報告がなされた。本年度予算案に関しては、上記した土木系運動会の開催有無によって変化することになるが、これを含めて学生会で管理することとなった。

#### 7. 留学生関連活動報告（資料 31-1-9） （趙）

- 平成 30（2018）年度の活動として、発行された「しゃち」No.59 に基づき Alumni Newsletter Issue No.8 を作成し、在学生を含む外国籍の同窓生に対し、2019 年 5 月中旬にメール配信する旨、紹介があった。また、10 月入学生の歓迎と在学生他との交流を目的に、11 月 9 日（金）に企画、開催した Tea Chat Party（秋）の報告があった。併せて、6 月 27 日（水）の Tea Chat Party（春）、9 月 27 日（木）の Farewell and Welcome Party についての会計報告がなされた（本来は前年度第 2 回役員会で報告すべきもの）。
- 本年度の活動計画が紹介され、Newsletter 作成・発行、5 月の Tea chat party、9 月の Farewell party、10 月の Welcome party の開催に対する支援が求められた。審議の結果、前年通り、（Farewell Party に対する支援と別に、）本会会計から 5 万円、基金から 5 万円を支援することとなった。

#### 8. 土木事業談話会・就職面接マナーセミナーの実施報告 （資料 31-1-10） （田代）

- ・ 12月9日（土）に実施した土木事業に関する談話会（37名出席）、1月18日（木）に実施した就職面接マナーセミナー（27名出席）について報告があった。
- ・ 談話会への出席者が（減少傾向とは言え）例年並みであった一方、マナーセミナーへの出席者が例年よりも少なかったのはインターンシップなどが重なったためであるとの説明があった。

#### 9. 国家公務員試験対策の報告（資料 31-1-11） （中井）

- ・ 平成30年4月14日（土）には、第1回一次試験対策模試（23名参加）を行い、その後、「国家公務員による説明会（20名参加）、懇親会（16名参加）」を実施した旨、報告があった。また、二次試験対策として教員によるゼミを同年5月下旬に数回実施した（参加者3名程度）。
- ・ 本年度の受験に向けて、12月15日（土）には、第2回一次試験対策模試・懇親会を実施し、7名が参加した旨、紹介があった。その後、2月16日（土）には昨年同様、一次試験対策模試（24名参加）と説明会／懇親会（21名/11名参加）を実施した。
- ・ 近年の受験者数、合格者数について報告があった。平成30年度は1次試験合格者数がやや少なかったものの（15名）、2次試験合格者数はやや多く（11名）、官公庁への就職者も4名あった。これは前年の見通し通り、国家公務員を第1志望にしている学生がいたことに起因しているものと思われた。

#### 10. その他

- ・ 各期で予定されている周年同期会が紹介された：5期生50年会（6/6-7）、10期生45年会（10/26-27）、15期生40年会（11月）、25期生30年会（未定）、35期生20年会（未定）など。なお、10年会は、若年期会員支援制度が適用できる旨、改めて確認された。
- ・ （水谷研究科長および執行部より依頼があった）工学部特定基金について、有志会員からの支援があった旨、お礼とともに紹介があった。
- ・ 各学科単位の同窓会関係者と工学研究科執行部が集う工学部・工学研究科同窓会サミットが4月20日（土）に開催される旨、紹介があった。
- ・ 全学同窓会に関して、1)岐阜支部が設立されることとなり、6月29日（土）に支部設立総会、2)7月27日（土）に恒例の同窓会サミット、3)10月19日（土）にホームカミングデイといった行事が開催される旨、紹介があった。

## 議 事

#### 1. 役員・幹事の変更（資料 31-1-0） （田代）

- ・ 支部担当（東京）が高辻 康氏に、広報担当（しゃち）が椿涼太准教授に変更となった。
- ・ 教員幹事が加藤準治教授に、学生会会長が新旧に伴って朝隈友哉氏に変更となった。
- ・ 4年幹事として飯島琢臣氏、川田りさ氏が加わった。ただし、今回は所用により欠席。
- ・ 大学院博士課程前期課程在籍中の幹事について、従来通り2名配置するが、大学院から

の入学増に対応するスムーズな連絡体制の構築を目指し、所属研究科（工学・環境学）ごとの担当制を昨年度より継続している。

- ・ 役員会への出席率が低い幹事（目安として2年間、役員会に不参加、\*付記）について、交代を働き掛けていく方針について説明された。今後も該当者は明記していく。

2. 議事録の確認（資料 31-1-1）（田代）

- ・ 平成30年度第2回鏡ヶ池会役員会議事録が承認された。

3. 鏡ヶ池会名簿 No.54 編集作業の総括と No.55 の編集方針（資料 31-1-13）（判治）

- ・ 名簿 No.54 については、前号までの編集作業と同様、事務員に作業を担当いただき、CD化の過程も含め、例年通りのスケジュールで送付に至ったことが報告された。
- ・ 会員総数が増えているのに対し、自宅住所不明な会員が増加している印象。各期幹事のみなさまには益々のご協力をお願いしたい。
- ・ No.54 について、昨年度（50冊子にて余部発生）の状況を踏まえ、40冊子作成した。名誉教授（16名）に寄贈するとともに入手希望者を募ったところ、7名から購入希望有。残部（17部）は同窓会室保管分（2部）以外、土木系事務室と各講座に配布することとなった。これを踏まえ、No.54 については、配布数と購入希望数を合わせ、30冊作成することとした。
- ・ 名簿 No.55 については、例年通りのスケジュールでの編集・発行を予定している。については、8～10月にかけて各期の幹事の方々にデータ修正を行っていただきたく、協力要請があった。
- ・ 名簿 CD を開けない、とする意見あり（必要ソフト・Acrobat Reader のインストールの可能性が高い）。そのほか、CD 以外の媒体（USB メモリ）とする場合のリスクについて意見交換があった。

4. 「しゃち No.60」編集方針（資料 31-1-14）（椿）

- ・ 60号の節目を迎えるにあたり、特集内容について意見照会があった。編集委員会を中心に定めていく方針が確認された（9月17日（火）にメールにて寄稿依頼あり、特殊テーマは「名大土木教室の過去・現在・未来」.）。
- ・ なお、前号 No.58 からは自由寄稿の追悼文だけでなく、物故者リストを載せるようにしたことが紹介された。
- ・ 銀シャチが休刊していることに伴い、希望者からの寄稿の受け皿となるべく、皆さんからの原稿を募集している旨、改めて紹介があった。
- ・ しゃちのバックナンバーを綺麗に見やすくするためのスキャンやり直しについては、必要であることに異存はないが、業者委託の場合、20万円程度発生するため、経費を縮減する調整も要請された。

5. 鏡ヶ池会のサーバについて（資料 31-1-15）（酒井）

- ・ ウェブサイトのほか、平成24年9月よりフェイスブックを作成し、情報を公開している

旨、紹介があった。

- ・ 役員体制の更新に伴って準備していた、メーリングリストの更新が遅れていることへの謝罪があった。
- ・ 各期独自のメーリングリストを作りたい場合は、希望さえあれば作成すると案内があった。
- ・ サーバー・ドメインの管理費について、平成 24 年 6 月から契約使用中の「お名前.com」の共用サーバとドメインについて、引き続き、契約延長して使用継続したい旨、提案があり、審議の結果、これを認めることとなった。なお、サーバーレンタル料：年間 16,848 円、迷惑メールフィルター：年間 1,296 円、ドメイン管理費：3 年間 11,480 円の各費用が発生することとなる。

#### 6. 第 29 回総会について（資料 31-1-16）

（田代）

- ・ 5/17(金)環境総合館レクチャーホールにて総会を 18:00～、レストラン「花ノ木」において懇親会を 19:00～、執り行う予定である旨、紹介があった。
- ・ 大学で開催することの意義を考慮し、当日 15 時からプレ行事として、減災館や N2U ブリッジ他の施設見学を執り行う旨、また、卒業記念パーティーで上映している研究室（卒業・修了生）紹介ムービーを上映する旨、紹介があった。
- ・ 第 1 回役員会時点では直前になってしまうため、できれば、前年秋の役員会で概略を決めて早く周知する方向性について再確認した。
- ・ 企画する執行部メンバーからは、目標とする参加者は 100 名と意気込むも、例年の参加状況から 70 名程度ではないか、とする所見が披露された。

#### 7. その他

- ・ 次回の役員会について日程を協議した結果、10 月 12 日（土）を候補とすることとなった。次回は、懇親会を含めて開催することとなる。
- ・ 次期会長推薦案作成委員会について、現三役（会長・幹事長・副幹事長）と会長経験者を始めとするメンバーで構成する内規が紹介され、協議の結果、8 期寺島様（前会長）、11 期伊藤会長、26 期鈴木様、35 期田代幹事長、36 期中井副幹事長、46 期柿本様（しゃち）にて組織することが提案され、承認された。

以上